

2026年 第34週 (8月17日～8月23日)の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 管内の感染症発生状況
- 2 腸管出血性大腸菌による感染症・食中毒予防対策の徹底について
- 3 ダニ媒介感染症について
- 4 手足口病について

1 管内の感染症発生状況

(1) 管内の全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症)

第34週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症)

(2026年34週) ※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
2	0.67	-	-	-	-	1	0.5	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3.67

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	急性呼吸器感染症		
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.5	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96	32

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#)

2 腸管出血性大腸菌による感染症・食中毒予防対策の徹底について

今年の県内の累積患者数は66人となりました。管内でも先週、腸管出血性大腸菌感染症が2人報告されています。

抵抗力の弱い乳幼児や低学年の子ども、高齢者を受け入れる施設等については、感染症、食中毒予防対策がより重要となります。県民の皆さまには以下の点についてご注意いただきますようお願いいたします。

- (1) 学校や高齢者施設等において、職員及び児童、生徒あるいは入所者等に下痢、血便等の症状が見られたときは、早期に医療機関を受診するよう勧奨するとともに、同様の症状を有する者が複数確認された場合は、速やかに管轄の健康福祉事務所(保健所)へ報告してください。
- (2) トイレの後や食事の前には、石けんによる手洗いを励行してください。また、おむつなどの処理をした場合は、手指の洗浄と消毒を徹底してください。
- (3) 湧き水などの消毒処理がされていない生水は飲まないよう、また、肉類は中心部まで十分加熱処理して食べるようにしてください。
- (4) 施設等に設置されているプールの水質管理や、水遊び用プールについても水質等の衛生管理を徹底してください。
- (5) 動物(牛、鳥、カメなど)と触れ合ったり、その排泄物に触れた後は、石けんによる手洗いとともに、必要に応じて手指の消毒とうがいを励行してください。

<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[腸管出血性大腸菌感染症について](#)

◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)

[腸管出血性大腸菌感染症](#)

3 ダニ媒介感染症について

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の今年の県内の累積患者数は7人となっています。

SFTSはSFTSウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐・下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は6～14日で、治療薬はなく対症療法となっています。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が有効です。また、山野へ入った2週間以内に発熱や発疹が出たときはすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。

<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[マダニに注意!ダニ媒介感染症について](#)

◆[厚生労働省ホームページ](#)

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について](#)

[ダニ媒介感染症](#)

◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）](#)

[つつが虫病](#)

[日本紅斑熱](#)

4 手足口病について

管内の手足口病の定点あたり患者数は今週0人で、先週（1.50人）から減少しました。県内の定点あたり患者数は今週1.27人で、先週（1.05人）横ばいとなっています。

主要な原因ウイルスはエンテロウイルスで、年により、流行する型に変動が見られます。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染などです。保育園や幼稚園などの乳幼児施設では、手洗いの励行と排泄物の適正処理が感染予防の基本です。

<感染症に関する情報>

◆[厚生労働省ホームページ](#)

[手足口病](#)

[夏の感染症対策](#)

◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)

[手足口病](#)